

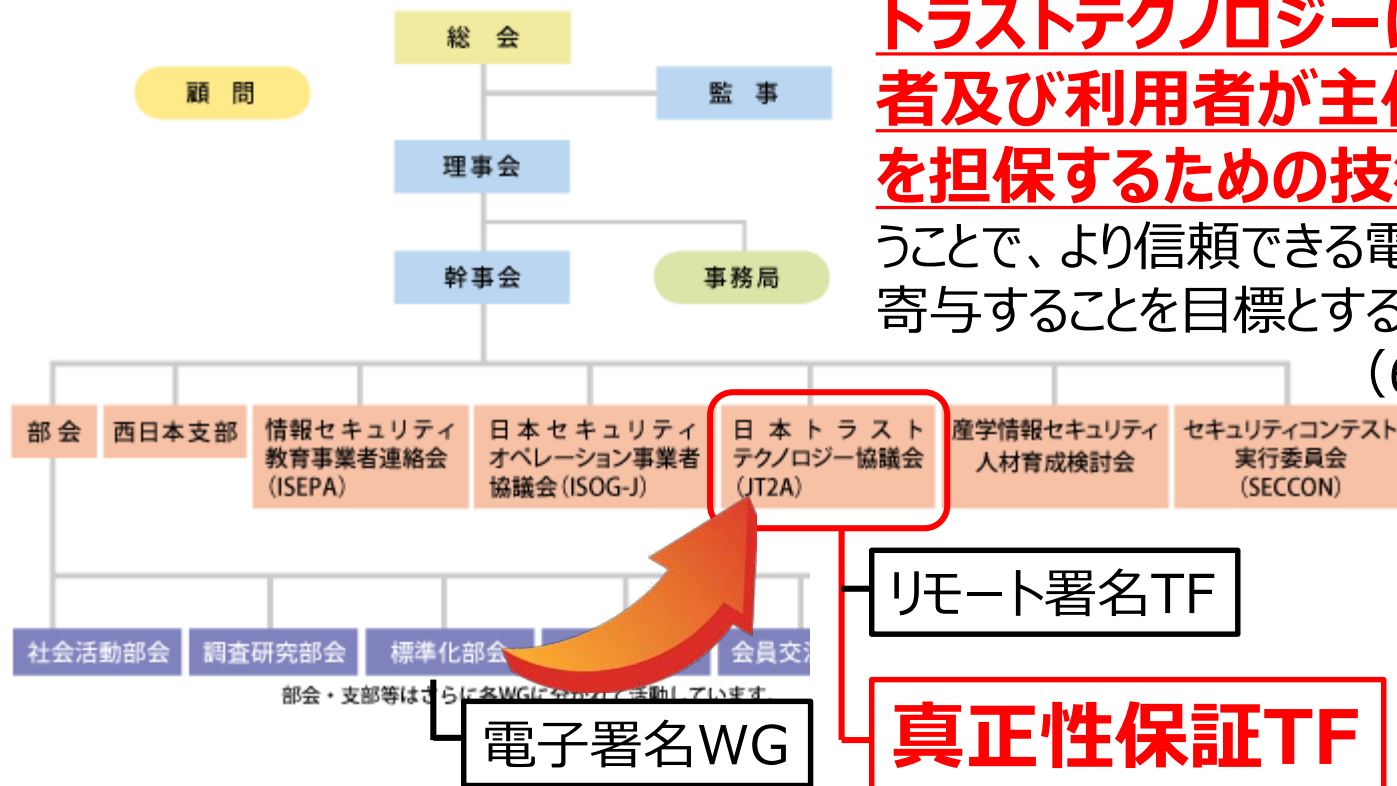
**JNSA電子署名WG春祭り
「電子署名の世界（SIGN WORLD）」
～JT2A 真正性保証TFのご紹介～**

2018/05/23

JT2A 真正性保証TF リーダー
山中

JT2A 真正性保証TFとは

電子署名・電子証明書や電子認証などの
トラストテクノロジーに関連する事業者及び利用者が主体となり、信頼性を担保するための技術等の検討を行うことで、より信頼できる電子社会の促進に寄与することを目標とする団体
(6/12発足予定)



18年度活動計画

1. 真正性保証の指針を検討

2. 「オンライン手続におけるリスク評価及び電子署名・認証ガイドライン」の改定

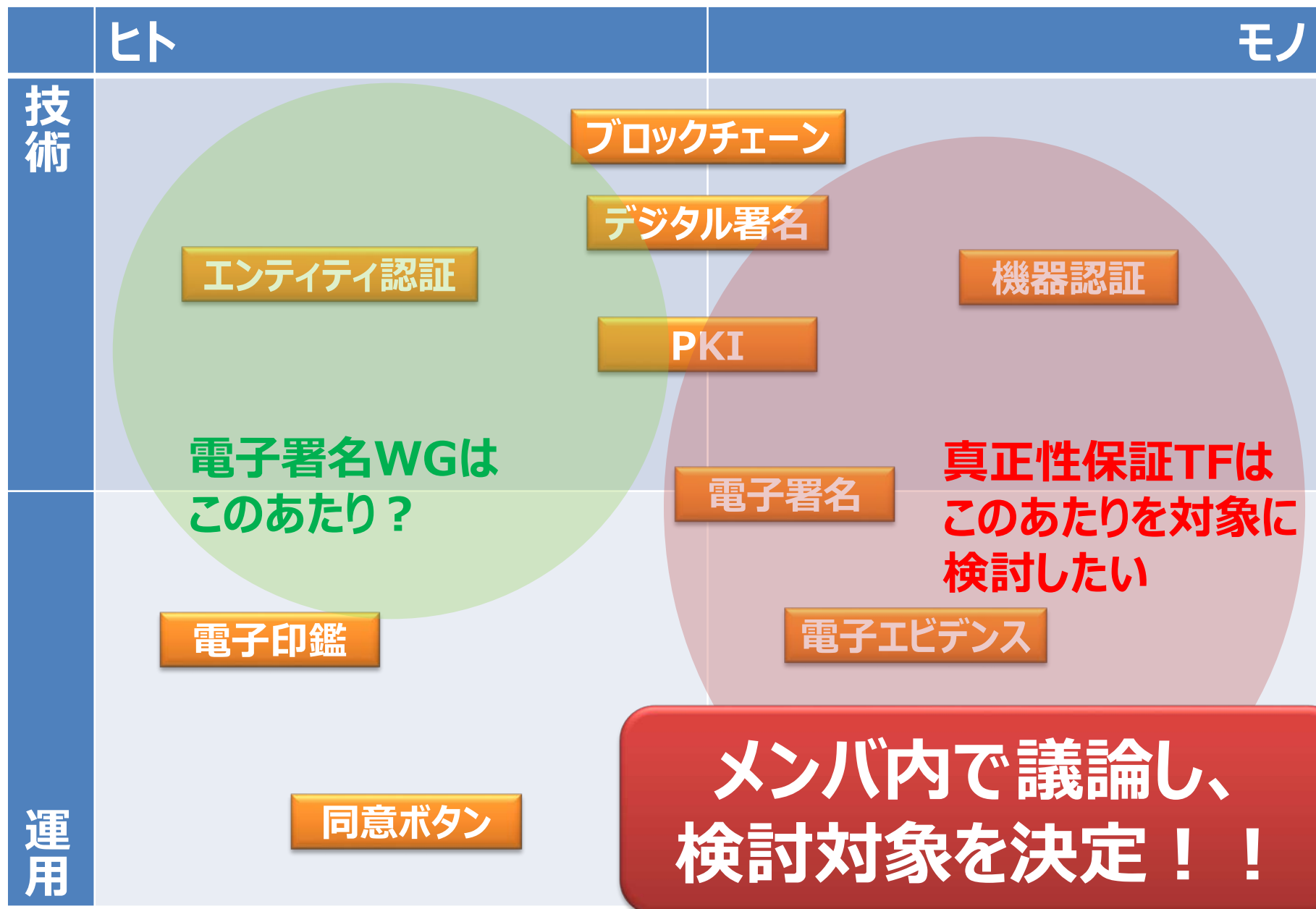
1.真正性保証の指針を検討

真正性 (Authenticity) とは

- 「ISO27000」では、
 - エンティティは、それが主張する通りのものであるという特性。
- 「Wikipediaの情報セキュリティ」の項目では、
 - ある主体又は資源が、主張どおりであることを確実にする特性。真正性は、利用者、プロセス、システム、情報などのエンティティに対して適用する。
 - 情報システムの利用者が、確実に本人であることを確認し、なりすましを防止すること
- 「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」では、
 - 真正性とは、正当な権限において作成された記録に対し、虚偽入力、書換え、消去及び混同が防止されており、かつ、第三者から見て作成の責任の所在が明確であることである。なお、混同とは、患者を取り違えた記録がなされたり、記録された情報間での関連性を誤ったりすることをいう。

少しでも真正性に関連する
技術 (暗号技術を使わないのもあり)
を対象に検討

検討対象の範囲（案）



スケジュール



トラストってどう
確保するの？

真正性に
少し興味が..

知識を深めたい



**JT2Aで
ぜひ一緒に活動
しましょう！**

2. 「オンライン手続におけるリスク評価及び電子署名・認証ガイドライン」の改定

電子署名・認証ガイドラインの改定

現在検討中のテーマ②

■ 電子署名・認証ガイドラインの見直し

- 政府情報システムにおける本人確認手段及びデータの真正性の確保として電子署名が主となっている。一方、電子署名を行う利用者の環境は普及していない。諸外国においても電子署名に加え、電子認証等の利活用も進んでおり、適切な技術選択を推進する必要がある。
- 2010年にCIO連絡会議決定で、「オンライン手続におけるリスク評価及び電子署名・認証ガイドライン」として、電子署名に加え、電子認証を利用する場合の基準を提供。
- 電子認証に関しては、ここ数年で技術標準の検討も進んでおり、それらのグローバル標準（例えば、NIST SP800-63）の改訂状況等を反映する必要もある。
- 対応方針としては、電子行政分科会の押印WS等の議論を基に、ガイドライン改訂の内容の提示。

■ API連携へ向けた可

- API連携で、上流システムに直接的影響
- 対応方針としては、意点の整理。APIでデータ取得している情報システムのAPI連携の留意点の整理。

デジタル・ガバメント技術検討会議の技術TFにて
ガイドラインの改定作業を実施

技術TFのメンバーにJT2A真正性保証TFが参画

引用：デジタル・ガバメント技術検討会議 技術TFにおける検討（p.6）

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/senmon_bunka/densi/dai29/siryou3-2.pdf

電子署名・認証ガイドラインの改定

表 23 本人確認方法の見直し

取組主体	取組事項	取組時期	取組の効果
I T 総合戦略室	「デジタル社会における行政手続の本人性の確認及び真正性の確保等の手法に関するガイドライン」策定 （「オンライン手続におけるリスク評価及び電子署名・認証ガイドライン」廃止 ※NISCと連携）	平成 30 年 4 月 予定	既存の各種手続をデジタル化する際に必要となる本人確認等に対して、ID・パスワード等の電
I T 総合戦略室	「デジタル社会における行政手続の本人性の確認及び真正性の確保等の手法に関するテクニカルガイドブック」策定	平成 30 年 8 月末 予定	留意事項など技術的な事項をまとめたもの。

具体的な実装方法をまとめた
実装ガイドを策定

▶ JT2A真正性保証TFにて実装ガイド
（テクニカルガイドブック）の策定活動を実施

引用：行政手続コスト削減に向けて（見直し結果と今後の方針）（p.26）

<http://www8.cao.go.jp/kisei-kaikaku/suishin/meeting/committee/20180424/180424honkaigi05.pdf>

テクニカルガイドブックの内容

ガイドブックの内容は

本人性確認の実装ガイド

真正性保証の実装ガイド

を記載

テクニカルガイドブックの内容

本人性確認のところでは、

表 25 本人確認等の手法の見直し対応表

確認 レベル		デジタルによる本人確認等
厳格	<ul style="list-style-type: none">・ 電子署名方式・ 実印+印鑑証明書・ 自署+実印+印鑑証明書	<ul style="list-style-type: none">・ 電子署名方式・ ID・パスワード等方式 (氏名等確認あり)
	<ul style="list-style-type: none">・ 実印	<ul style="list-style-type: none">・ ID・パスワード等方式 (氏名等の確認なし)
	<ul style="list-style-type: none">・ 確認を意思表示するための自署	<ul style="list-style-type: none">・ 電子文書、電子メール等への記名・ クリックボタン・ フォーム入力等[ID・パスワード等方式は使用可能]

・ ID・パスワード等方式
(氏名等確認あり)

・ ID・パスワード等方式
(氏名等の確認なし)

などの実装ガイドを記載

引用：行政手続コスト削減に向けて（見直し結果と今後の方針）（p.28）

<http://www8.cao.go.jp/kisei-kaikaku/suishin/meeting/committee/20180424/180424honkaigi05.pdf>

テクニカルガイドブックの内容

真正性保証のところでは、完全性にフォーカスし、

電子署名

タイムスタンプ

デジタル記録の
保全と突合

などの実装ガイドを記載

電子署名・認証ガイドラインの改定のスケジュール



本人性確認
に興味が..

電子署名と
認証の知識を
深めたい

**JT2Aで
ぜひ一緒に活動
しましょう！**

ご清聴ありがとうございました